

タイルカーペット貼り 施工要領書

シンコール株式会社

1. 施工方法（下地）

- ①床面にはグリース、ペンキ、ワックス、油、埃、古い接着剤の異物がないようにして下さい。ひび割れ、穴、窪みなどはラテックス系接着剤で埋めておいて下さい。床面全体を掃除機又は箒で完全に掃除して下さい。
- ②突起物は取り除き、ザラついたり又は粉をふいているコンクリート床の場合にはプライマーによる前処理を行って下さい。
- ③床面の温度は最低 16℃以上にして下さい。
- ④コンクリート床面のpHは10.0以下にして下さい。（10.0を超える場合はアルカリ腐食の恐れがあります。）
- ⑤施工に先立ちタイルを箱から取出し、室温 15℃～20℃で 36 時間～48 時間放置して下さい。（極端に低い温度の場合、バック材が硬化し施工し難くなると共に、施工後の仕上がりに影響が出る事もあります。）
- ⑥床面が湿っていると、接着剤の硬化及び性能を妨げるものとなりますので注意して下さい。

2. 施工手順

タイルカーペットは、1枚単位取り替えが出来る様にする為、床に完全接着するのではなく、カーペットとカーペットを押し付ける事により施工強度をつけるのがポイントです。

- ① 部屋の中央部にタテ、ヨコ共墨出し線を直角になる様に引きます。
- ② 墨出し線の交わる所よりそれぞれラインに沿って1列敷き込みます。
この十字形が基本となりますので、接着剤を使って固定（接着剤はピールアップ用接着剤を使用）して下さい。
- ③ 敷きかたには順目流しと市松敷きがありますが、普通は市松敷きが良い結果となります。
- ④ 接着剤で仮止めしてある基本線のカーペットに対し、ニーキッカーでプレッシャーをかけながらピラミッド状に順次施工していきます。
- ⑤ 壁面に接する部分はカット面が壁面に接する様にして下さい。
- ⑥ 敷き込み完了後は、ローラー掛けを十分に行って良く馴染ませて下さい。

3. 施工後の注意

- ①タイルカーペットのパイルの方向性が合っているかどうかチェックして下さい。
- ②目地部分の浮き、あるいは隙間の有無をチェックして下さい。
- ③ジョイント部分がよくかみ合っているか、盛り上がっていないかをチェックして下さい。パイルのホツレ、飛び出しがないかを確認して下さい。
- ④重い家具什器等を移動する場合はベニア板をタイルの上に敷いて下さい。施工からまもない場合は特に注意して下さい。